



国土交通
大臣賞

KOSEN-Recurrent Education of Infrastructure Maintenance

舞鶴高専iMecから

連携4高専へ展開
(福島、長岡、福井、香川)

全国の高専へ



リカレント教育拠点の全国展開

実務家教員育成研修プログラムの開発・実施
実務家教員の育成

インフラメンテナンス分野の
人材育成・技術継承の担い手を育成



リカレント教育プログラムの開発・実施
インフラメンテナンス技術者の育成

各地域の高専のリカレント教育拠点で
実務家教員が活躍

全国の高専へリカレント教育拠点を展開

実施状況：実務家教員育成研修プログラム（教育実習）



実施状況：准橋梁点検技術者認定講座



道路分野

KOSEN型産官学プラス地域共同 インフラメンテナンス人材育成システムの構築

取組概要

舞鶴、福島、長岡、福井、香川の5高専を中心に産官学と地域でREIM産学連携コンソーシアムを発足し、“地元のインフラは地元で守る”をモットーに地域に軸足を置くインフラメンテナンス人材育成システムを構築した。各地域の高専で地元自治体・企業等の技術者へリカレント教育を実施するとともに、技術者教育を担うインフラメンテナンス分野の実務家教員を育成することで、持続可能なリカレント教育を全国の高専へ展開する活動を実施した。また、官民の賛同を得て本取組の継続を支援する一般財団法人高専インフラメンテナンス人材育成推進機構を設立した。

受賞理由

新たな機関を創設しており、全国の教育内容に関与している点、産官学民の分野に働きかけ、建設業界の人材確保の一助として定量的な効果がある点が評価された。

取組のポイント

本取組は、文部科学省「持続的な産学共同人材育成システム構築事業」（2019～2023年度）中核拠点の取組として採択された。取組推進の主体となったREIM産学連携コンソーシアムには、産官学15機関と5地域の連携協議会が参画し、全メンバーが所属する合同会議と3つの部会を置いた。各部会では、橋梁メンテナンス技術者及び実務家教員を育成する新規教育プログラムの開発・実証・検証の他、高専を核とするインフラメンテナンス人材育成システムの持続的運営とリカレント教育拠点の全国展開を支援する一般財団法人の設立へ向けた検討を行った。

受賞者について



受賞者

REIM産学連携コンソーシアム（各高専代表/*事務局）
玉田和也 齊藤充弘 井林 康 辻野和彦
(舞鶴高専) (福島高専) (長岡高専) (福井高専)
林 和彦 嶋田知子 黒谷 努
(香川高専) (舞鶴高専*) (近畿建設協会*)

コメント

ここに掲げる面々以外にも本当にたくさんの方々にご尽力いただきました。その根底には、地方のインフラメンテナンスへの危機感があります。地方の自治体職員や民間技術者に本教育システムを活用いただき、未来の世代に素敵なインフラを残していきたいです。

団体概要

REIM産学連携コンソーシアムは、産官学と地域が連携する共同教育の場として2019年12月16日に発足し、高専によるインフラメンテナンス分野のリカレント教育の開発・実装・展開に取組んでいます。《参画企業・団体等（受賞者欄掲載以外）》NEXCO西日本、建設コンサルタンツ協会近畿支部、橋梁調査会近畿支部、CVV、国交省近畿地整企画部、国立高専機構、放送大学、長岡技科大、各地域連携協議会（京都府北部/福島浜通り/長岡地域/福井県/香川）

問い合わせ先

独）国立高等専門学校機構 舞鶴工業高等専門学校
社会基盤メンテナンス教育センター（iMec）
0773-62-8877, kosen-reim@maizuru-ct.ac.jp
<https://www.maizuru-ct.ac.jp/kosen-reim/>